

	<p><b>オオタカ</b></p> <p><b>【解説】</b> [REDACTED]を飛翔する成鳥雌</p> <p><b>【撮影期日】</b> 平成 23 年 4 月 6 日撮影</p>
	<p><b>クマタカ</b></p> <p><b>【解説】</b> [REDACTED]で旋回する成鳥</p> <p><b>【撮影期日】</b> 平成 23 年 4 月 5 日撮影</p>
	<p><b>クマタカ</b></p> <p><b>【解説】</b> [REDACTED]で旋回する若鳥</p> <p><b>【撮影期日】</b> 平成 23 年 4 月 6 日撮影</p>

	<p><b>ハチクマ</b></p> <p><b>【解説】</b> [REDACTED] 上空で旋回する成鳥雌</p> <p><b>【撮影期日】</b> 平成 23 年 5 月 19 日撮影</p>
	<p><b>サシバ</b></p> <p><b>【解説】</b> [REDACTED] で旋回する成鳥雄と考えられる個体</p> <p><b>【撮影期日】</b> 平成 23 年 5 月 19 日撮影</p>



定点調査状況 4月（左 MP1 地点、右 MP2 地点、平成 23 年 4 月 5 日撮影）



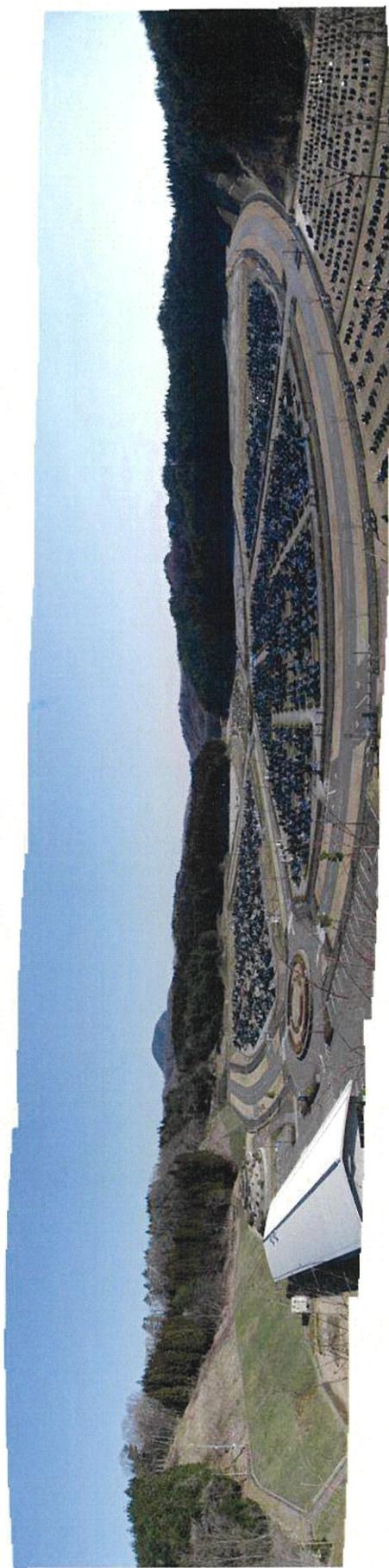
定点調査状況 5月（左 MP1 地点、右 MP2 地点、平成 23 年 5 月 19 日撮影）



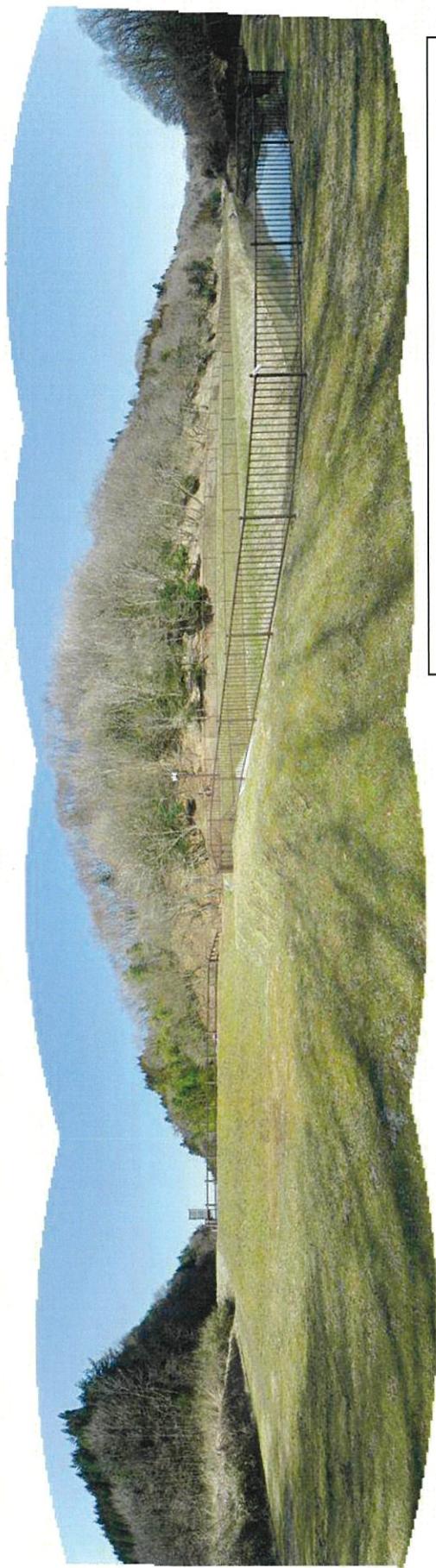
定点調査状況 6月（左 MP1 地点、右 MP2 地点、平成 23 年 6 月 16 日撮影）



定点調査状況 7月（左 MP1 地点、右 MP2 地点、平成 23 年 7 月 26 日撮影）



猛禽類調査地點MP1 パノラマ（平成23年4月5日撮影）



猛禽類調査地點MP2 パノラマ（平成23年4月6日撮影）

## 5. 移植した植物の経過観察結果

種名	移植数	7/3	7/25	8/3	9/18	10/29
アイascaイノデ	葉の一部を剪定して移植した。	—	—	6株から新葉が出ている。被圧無し。	6株から新葉が出ている。斜面上部の1株は葉が寝ていた。その他は良好。被圧もほとんど無し。	6株から新葉が出ている。斜面上部の1株は葉が寝ていた。その他は良好。被圧もほとんど無し。
シケチシダ	葉の一部を剪定して移植した。	—	—	全株から新葉が出ている。被圧無し。	全株に新葉が出ているが、上段の4株は葉が寝ていた。その他は良好。被圧もほとんど無し。	上段4株の自立している葉が増えている。全部寝ているのは1株のみ。下段は全て自立している。被圧はほとんど無し。
ヒメフタバラン	分解性のポットに入れて容器ごと移植した。	移植箇所に目印を立てた	—	※	※	※
ヒゴスマレ	分解性のポットに入れて容器ごと移植した。	—	—	良好な生育状況。被圧も無し。	良好な生育状況。葉色良く、葉量も増加。被圧も無し。	良好な生育状況。葉色良く、葉量も増加。被圧も無し。
アワコガネギク	移植時に葉を残さず剪定した株があったため、速報は4株としたが、その後、剪定した株から新葉が出ており、合計7株確認された。	—	10株確認された。うち3株は新芽。周辺の草本やササが侵入していたため、除草した。	10株のうち3株は新芽。周辺の草本やササが侵入していたため、除草した。	移植した一株は剪定した茎の途中から折れていったが、その根元に新葉が出ていた。その他は良好。被圧はほとんど無い。	※
ムカゴニンジン	分解性のポットに入れて容器ごと移植した。	—	2株虫害有り。	虫害はあるが生育上問題無いと思われる。周辺の草本やササに被圧されているため、軽度に除草した。	3株つぼみを付けている。全株むかごを形成中。草本類の被圧があるが、他の草本等にもたれかかって生育するため、特に問題は無いと思われる。	※
シデシャジン	葉の一部を剪定して移植した。	—	花茎5本出ている。	花茎6本、うち1本開花中。	花茎6本、花は終了して結実中。草本が侵入しているため、軽度に除草した。	結実しており、種子を採取した。
ソヨゴ	2m丈のもの1.2m丈に短くし、枝先の葉を残して剪定し、根巻きをして移植した。	—	—	良好な生育状況。被圧も無し。	良好な生育状況。被圧も無し。	付近の枯れマツとカエデが倒れて、一部がソヨゴに被さっていたため、それらを撤去した。ソヨゴは無事だった。
イトモ	—	—	—	移植個体数は計数不能。個体群の一部を網カゴに入れて仮移植した。	移植時のような長い水中茎は確認されず。網カゴの底に殖芽が複数確認された。	網カゴの底に殖芽が多数確認された。

※印は地上部の生育確認適期ではなく生育状況の良否が判断できない時期であることを示す。

<p>希少種保護の観点から、生育・生息場所が特定できる情報は非開示としました。</p>	<p>アイアスカイノデ</p>
<p>希少種保護の観点から、生育・生息場所が特定できる情報は非開示としました。</p>	<p>シケチシダ 【撮影期日】 平成 23 年 10 月 29 日撮影</p>
<p>希少種保護の観点から、生育・生息場所が特定できる情報は非開示としました。</p>	<p>ヒメフタバラン 【撮影期日】 平成 23 年 9 月 18 日撮影</p>
	<p>【撮影期日】 平成 23 年 7 月 3 日撮影</p>

<p>希少種保護の観点から、生育・生息場所が特定できる情報は非開示としました。</p>	<p>ヒゴスマレ</p>
	<p>【撮影期日】 平成 23 年 10 月 29 日撮影</p>
<p>希少種保護の観点から、生育・生息場所が特定できる情報は非開示としました。</p>	<p>アワコガネギク</p>
	<p>【撮影期日】 平成 23 年 9 月 18 日撮影</p>

<p>希少種保護の観点から、生育・生息場所が特定できる情報は非開示としました。</p>	<p>シデシャジン</p>
	<p>【撮影期日】 平成 23 年 9 月 18 日撮影</p>
<p>希少種保護の観点から、生育・生息場所が特定できる情報は非開示としました。</p>	<p>イトモ（殖芽）</p>
	<p>【撮影期日】 平成 23 年 10 月 29 日撮影  ※赤丸内に殖芽がある。</p>